

今年度の主な行事予定をお知らせします。

令和4年度

イベントスケジュール

※新型コロナウイルス感染症などの影響により、中止や日程が変更になる場合があります。
各行事の詳細は、開催の約1か月前に「広報もろやま」や町ホームページでお知らせします。

マ=毛呂山町健康マイレージ事業対象事業

月	日	曜日	イベント名	開催場所など
5	7	土	ウォーキング教室 マ	総合公園
	15	日	春の清掃日	町内全域
5月18日(水)~5月31日(火)			滝ノ入ローズガーデン春のバラ祭り	滝ノ入ローズガーデン
6	5	日	土砂災害・全国統一防災訓練	山間地域
7	2	土	ラケットテニス教室 マ	総合公園体育館
9	4	日	芸能音楽祭2022	ウィズもろやま
	11	日	防災訓練	総合公園
10	2	日	町民レクリエーション大会 マ	総合公園
	16	日	図書館祭り	図書館
	16	日	秋の清掃日	町内全域
	29	土	ウォーキング教室 マ	総合公園
10月中旬~10月下旬			滝ノ入ローズガーデン秋のバラ祭り	滝ノ入ローズガーデン
11	3	木(祝)	いづもいわい 出雲伊波比神社の流鏝馬	出雲伊波比神社
	3	木(祝)	やぶさめ横丁	ウィズもろやま駐車場
	5	土	ペタンク大会 マ	大類グラウンド
	6・13	日	名球会メモリアルカップ毛呂山少年野球大会	大類ソフトボールパーク他
	19・20	土・日	産業まつり	総合公園
	26	土	児童館まつり	児童館
11月中旬~11月下旬			ゆずの里ウォーク マ	滝ノ入周辺
12	3・4	土・日	中央公民館まつり	中央公民館
	4	日	黒山・鎌北湖駅伝大会	総合公園~越生町中央公民館
	11	日	町内バレーボール大会 マ	総合公園体育館
	18	日	彩の国21世紀郷土かるた毛呂山町大会	総合公園体育館
	18	日	クリスマス子どものつどい	図書館
1	8	日	出初式	毛呂山町内
	8	日	はたち 二十歳のつどい	ウィズもろやま
	21	土	ラケットテニス大会 マ	総合公園体育館
2	11	土(祝)	スポーツ少年団交流会	総合公園体育館
3	4	土	ふれあい中央公民館	中央公民館
	12	日	出雲伊波比神社 春の流鏝馬	出雲伊波比神社

町の無料相談

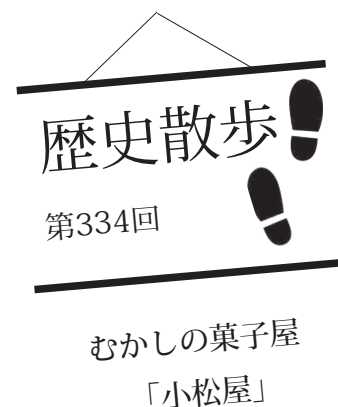
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため変更・中止となる可能性があります。

相談種類	日にち	時間	相談場所	申込み・問合せ	
法律相談	弁護士	4/12(火)、4/25(月) 5/10(火)、5/23(月)	13:30~16:00	役場会議室	役場総務課☎④313 (要予約)
	行政書士	4/20(水)、5/18(水)	10:00~15:00	役場会議室	役場総務課☎④313
人権・行政相談	4/14(木)、5/12(木)	13:30~16:00	役場会議室	役場総務課☎④313	
成人健康相談	5/2(月)	10:00~11:30	保健センター	保健センター☎294-5511	
	4/5(火)	10:00~11:30	役場1階町民ホール		
電話健康相談	平日	9:00~17:00	保健センター☎294-5511		
育児ほっと相談室	4/27(水)、5/25(水)	10:00~11:00	児童館内子育て支援室	保健センター☎294-5511	
もの忘れ相談会	毎月第3木曜日	10:00~12:00	中央公民館	地域包括支援センター ☎295-2112④126	
子育て相談 なんでも話してみよう	平日	10:00~15:00	役場相談室 子育て支援センター	子育て支援センター ☎294-4820 (要予約)	
教育相談	平日	10:00~16:30	教育センター☎295-2525	(電話相談可)	
心配ごと相談	毎月第2・4水曜日	10:00~12:00	社会福祉協議会(毛呂山町川角303-3*)	☎295-0601	
消費生活相談	毎週月・火曜日	10:00~15:00	役場相談室	役場産業振興課☎④214	
生活困窮者自立相談 ※生活保護受給者以外	平日	8:30~17:00	アスポート相談支援センター埼玉西部毛呂山出張所 (社会福祉協議会内*) ☎080-2274-1445		

*社会福祉協議会事務所の移転に伴い、4月1日より相談場所が変更になりました。

戦前までの菓子屋は、年中行事やお祭り、結婚や年祝い、葬式など冠婚葬祭で使う菓子などをたくさん作り、販売していました。たとえば、結婚式に松竹梅や鯛、鶴亀などの打菓子、葬式には引物として皮に蓮や紅葉、菊の焼印を押した葬式饅頭、神社や寺院のお祭りのときには参拝客向けの和菓子を作ったりと、菓子は単なる嗜好品ではなく、行事に

現代の私たちは、スーパーやコンビニなどでお菓子を気軽に買うことができ、商品の陳列棚には色々なお菓子が並べられるようになりました。しかしその一方で、昔ながらの和菓子屋などは少なくなりました。毛呂山町苦林には、明治時代から戦後にかけて「小松屋」という菓子屋が営業していました。明治時代から砂糖の輸入量が増加したことで、全国各地に多くの菓子屋が開業しました。小松屋もその一つで、羊羹などの生菓子から落雁などの干菓子まで様々な菓子を作っていました。



小松屋で販売用の菓子を入れて持ち運ぶために使われていた菓子箱と打ち菓子の型

とって意味のあるものでした。戦時中の食料統制によって、和菓子の材料である砂糖や小豆などが制限され、自由に菓子を作れなくなると県内の菓子屋の多くは廃業や休業してしまいました。小松屋では当主が戦中に兵士として動員されたため、復員を待つ間、当主の妻が家計を支えるために菓子作りを行いました。終戦直後も、菓子を買うほど余裕のある人がおらず町内ではなかなか売れなかったため、自転車の荷台に菓子を積み、電車に乗って東京の上野まで菓子売りの行商に行っていました。昭和27年(1952)までは砂糖の統制が行われていたため、砂糖のかわりにふかしたサツマイモで練り菓子を作っていたそうです。昭和中期には経済成長と生活の洋風化によって和菓子は食べる機会が少なくなり、小松屋も現在は営業していません。しかし近年の健康志向で、和菓子は洋菓子よりもカロリーが低いものが多いため、今、注目されています。年度が変わり、入学や新生活などのお祝いごとが多いこの春の季節に、和菓子を食べてみてはいかがでしょうか。